

減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：三宅 広起

vol. 25 2026. 1. 29

みなさんこんにちは。減災ニュースVol.24に続き、建設中の高取バイパスで訓練を行ったチームよりご報告いたします。今回の訓練は、広陵町および高取町で最大震度6強を観測し、さらに数日前からの大雨により土砂災害が発生したという想定で実施されました。私たちは高取バイパスにおいて、近畿および周辺府県から集まった消防隊員と連携し、多数の傷病者発生を想定した訓練に参加しました。



訓練当日、当院DMATは高取バイパスで発生した土砂災害に伴う多重衝突事故現場に派遣されました。現場には実際のバスや乗用車、大木などが配置され、実災害さながらの緊迫した状況で訓練が行われました。

現場では、消防隊員による救出と一次トリアージの後、DMATが傷病者に対して詳細な観察、医療評価、応急処置を行い、搬送優先度の判断や搬送先医療機関の選定を担いました。災害時の搬送優先度の判断や病院選定は医療従事者の専門的判断が不可欠であり、この役割がDMAT派遣の大きな意義となります。消防機関・他施設DMATと連携しながら、傷病者の情報整理や引き継ぎを行い、安全かつ迅速な搬送につなげることができました。小雨の影響もある中での活動となり、屋外での処置や搬送の難しさを改めて実感しました。今回の訓練は、災害現場における医療従事者の役割と、多職種連携の重要性を再確認する機会となりました。



【高取バイパスへの派遣DMAT隊】

医師：山根

看護師：加藤・三宅

調整員：岡本（訓練コントローラー兼任）

今回も山根先生が陣頭指揮を執りました！

ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。
（患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。）